

こうとう民報

2016年4月号 137

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-m.inpo.jp/

「野党共闘」のかなめ日本共産党の躍進で!



4月14日、江東区文化センターホールで3カ月後に迫った参議院選挙にむけ、日本共産党演説会が開催されました。

写真左から田村智子議員、山添拓予定候補、市田忠義副委員長、あぜ上三和子都議



日本共産党区議団は、2016年度(平成28年度)江東区一般会計予算(案)に対する修正案を提出しました。

改選後初めての山崎区長の予算は「スポーツと人情が熱いまち・夢への加速予算」とオンラインピック・パラリンピックを中心課題として打ち出しながら、保育料・国民健康保険料の値上げで区民負担を増

冒頭、都知事の豪華海外出張や待機児問題にふれたあぜ上都議の都政報告に続いて、党副委員長に就任した田村智子参議院議員は、軍事力に頼らない平和外交による日本の役割を強調するとともに、くらしや教育、保育などの充実で個人の尊厳を守る「共産党魂」で、参院選を勝利する決意を表明しました。

市田忠義副委員長は、かつてない激動の情勢のもとで再び比例代表の候補者として、9人目の議席に挑戦する決意を披れきるとともに、5中総の決定に即してユーモアを交え、野党共闘のかなめとしての日本共産党の値打ちと政策を詳細に説明しました。

税金の集め方、税金の使い方、働き方を変える、三つの提案を掲げて、安倍政治の根本と対決して国民の共同、野党の共闘で新しい政治の扉を開く、国民連合政府の

展望を持つている日本共産党の躍進を訴えました。最後に登壇した山添拓東京選挙区予定候補は、高学費やブラック企業での長時間労働など、若い世代が直面している苦難から解放するために政治を変える立候補の決意と、10万人の命を一夜にして奪った東京大空襲にふれて、戦争法廃止を争点にした参院選での必勝を力強く述べ、満場の拍手を浴びました。



熱弁ふるう山添拓予定候補

なお、約25万円の会場募金が寄せられました。

要な部署に正規職員を配置、不要・不急の事業の中止・積み立て基金の活用、平和事業の推進を柱に修正案を提起しました。

「子どもの貧困」対策など 予算修正案を提案

共産党区議団の提案はこの予算に対し 医療・介護・教育にかかる負担の軽減、保育園などの民間委託をやめ必

具体的項目では、保育料の負担軽減、子どもの貧困対策の実施、敬老祝い金の削減中止、入院見舞金・重度介護手

東京土建江東支部が第61回定期大会 全世代の結集に向け組織変革を推進し、組合と建設産業の発展へ

江東支部第61回定期大会が、4月16日、けんせつプラザ東京で開催されました。定期大会の基調報告に立った金谷修委員長は、社会保障制度の削減・縮小が迫られるなかで、建設国保の補助金確保、アスベスト訴訟支援、安全保障関連法案阻止など、昼夜を問わず様々な運動に取り組んできました。また、支部・分会役員など献身的な協力で、「つながり強化の活動」が例年以上に前進したと報告しました。

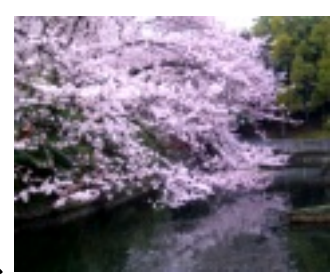


報告する金谷委員長

2016年度の運動方針は、7月の参議院選挙の結果で、消費税の消費税10%増税やT P P、安保法制など、国民の暮らし、労働と仕事、建設国保に重大な影響を及ぼす。増

税阻止勢力が国民の多数になるように運動を進めること。税制や財政についてのあり方などの学習活動をつよめ、学習会も開催して運動の発展につなげていくこと。60周年の節目にあたり仲間

桜の開花の公園の桜



桜の見どころが多い江東区、3日の日曜日は曇天のなかでお花見を楽しむ風景が随所で見られました。

翻 題

あつという間に葉桜となり、新緑の眩しい季節となりました。6日、3野党の国会議員が壇上に並ぶという空前の大集会が開催され、江東区文化センターを超満員にしました。小林節さんと記者は、故高岡さんと共に活動してきた仲間として握手をしました。集会の圧巻は、集会実行委員会に参加した諸団体の旗幟のもとに、7人の日本共産党区議と、市民の会、生活ネットの区議が肩を並べて、会場の参加者たちと「戦争法廃止」「野党は共闘」のコールを唱和したことでした。5中総では、情勢の二つの特徴を「戦後最も深刻な、権力者による憲法破壊と独裁政治に道を開く非常事態に直面して」「戦後かつてない新しい市民運動、国民運動が沸き起こり豊かに発展している」と指摘。それは、昨年6月からの「戦争法ぶつ潰せ江東行動」。地域に根ざした学習会、宣伝・署名活動、多彩なパレードなど展開してきた私たちの実感となつていきます。参院選まで3カ月、14日の演説会では、比例代表候補の市田、田村両党副委員長と山添拓東京選挙区予定候補が揃い、暴走する安倍政治を許さない。1人区の野党統一候補と野党共闘の要となる党の比例と複数人区での勝利で、新しい政治への歴史を切り開こうとの決意がみなぎりました。その幕明けは24日投票の衆院北海道5区補選から...

概説 江東の歴史 (55)

概説 江東の歴史 (55)

争議にたちあがった洋モスの女工



1927(昭和2)年、日本経済は金融恐慌にさらされ、2年後にはアメリカ発の世界恐慌にまきこまれました。失業者も30年末には50万人に増えました。江東での労働争議の中でも有名なのは、東京モスリン(京モス)と東羊モスリン(洋モス)の亀戸工場の争議です。

京モスでは、全員加盟の「工友会」が中間派の日本労働組合同盟系の紡績労働組合亀戸支部になっていました。26年夏に寄宿舎の食中毒で10日間のスト。翌年7月には、女工への手渡金が給料の6割から4割に減額されたことに反対し、1000人の女工大会を開いて撤回させます。この大会で16歳の飯島きみの演説が注目されました。28年8月にも、彼女の職場500人の女工は賃上げストで勝利、恐慌が深刻になった29年、会社は寄宿女工の強制帰郷をはかるも、女工たちのたたかいで中止させました。飯島きみは、1930年のモスクワでのプロフィンテルン大会に最年少の日本代表として出席しました。

洋モスの従業員の大半は京モスと同じ組合に属し、第二工場の男子は右派の総同盟系、女工は左派の全協に加盟していました。1930年2月、会社の第二工場閉鎖と490人の首切りに、各組合が別々に行動したため、総同盟系17人の復職だけで敗北します。9月の第三工場閉鎖と500人解雇には、日本紡績労組2500人が26日からスト突入。会社は暴力団でスト破りをはかるも、白鉢巻に赤ダスキの15,6歳の少女たちはスクラムで抵抗しました。江東の大島製鋼、城東電車などの争議団もかけつけ、千葉街道にあふれました。

解決を焦った組合幹部は、10月24日夜、亀戸全町に動員をかけた応援団をまじえ、2000人による「市街戦」と称した非合法デモを敢行。警官隊に170人余が検挙されます。警視庁は暴行(そうじょう)罪で幹部らを次々に検挙。主力を奪われた組合は、警察の調停を受け入れ、解雇者への退職金と特別手当の支給などの条件で、争議を打ちきりました。

行事日程

- 5月1日(日)11時 (代々木公園B地区) 第87回ミーティング
- 5月3日(火)13時 (有明防災公園) 憲法集会
- 5月5日(木)13時30分、高校生平和ゼミ
- (東京大空襲・戦災資料センター)
- 5月6日(金)11時30分 (夢の島公園) 国民平和行進出発集会
- 5月29日(日)13時15分、江東区労連定期大会 (江東区文化センター)

市民の力で野党共闘推進を



会場は「野党は共闘」の連帯の拍手に包まれる。主催者団体が壇上に上がり、憲法集会の力みで改憲阻止の国政選挙に野党共闘が実現する。

4月6日、安保法制に反対する団体・市民でつくる実行委員会主催の「安保法制廃止・安倍政治を許さない市民大集会 in 江東」が、江東区文化センター大ホールで開かれ、会場からあふれる660人が参加しました。

冒頭、弁護士宇都宮健児さんが「この集会を参院選挙の野党勝利、そして安倍政権の打倒につなげよう」と主催者挨拶。

民進党の柿沢未途、日本共産党の吉良よし子、社会民主党の福島みずほ各衆・参国會議員、大河内洋、シールズの代表からスピーチがあり、主催者団体のメンバーが壇上に上がり、憲法集会の力みで改憲阻止の国政選挙に野党共闘が実現する。

憲法学者の小林節・慶応大学名誉教授の講演、市民連合、「ママの会」江東、シールズの代表からスピーチがあり、主催者団体のメンバーが壇上に上がり、憲法集会の力みで改憲阻止の国政選挙に野党共闘が実現する。



4月2日、カメラアプロラザで元都教組江東支部役員有志の実行委員会により、昨年6月に逝去された東京平和・革新・友好団体日本共産党後援会代表委員の高岡岑郷(しんこう)さんを「偲ぶ会」が開催され、81人が列席しました。

高岡さんは七砂小に30年間在職。この間、都教組江東支部の専従書記長や委員長を務め、その後、都教組委員長に就任し、1995年まで教職員組合運動に専念しました。

この時期は、80年社会意以来の分裂策動を克服するために、江東でも革新懇と統一労組連動がすすめられました。さらに、戦後50年にして憲法改悪の動きが強まるなど、高岡さんは「偲ぶ会」を開き、81人が列席しました。

高岡さんは七砂小に30年間在職。この間、都教組江東支部の専従書記長や委員長を務め、その後、都教組委員長に就任し、1995年まで教職員組合運動に専念しました。

この時期は、80年社会意以来の分裂策動を克服するために、江東でも革新懇と統一労組連動がすすめられました。さらに、戦後50年にして憲法改悪の動きが強まるなど、高岡さんは「偲ぶ会」を開き、81人が列席しました。

前でおなじみの菱山南帆子さんの元気なコールに、応えて会場は大いに盛り上がりました。

講演で小林氏は、9条を無視した戦争法の危険、議会制民主主義の否定のよって倒すために野党は

緊急事態条項など立憲主義をわきまえていない安倍政治の実態を批判。中国と北朝鮮の「脅威」論の嘘も解明しました。

安倍自公政権を選挙によつて倒すために野党は

平和と革新の旗手

高岡岑郷さんを偲んで

1年以内の江東区での「東京大空襲を語り継ぐ」運動を担い、「国民学校一年生の会」を組織し、9条運動の先頭に立ちます。そこで、今では「戦争法廃止」「野党は共闘」に奔走する小林節さんとの出会いがありました。

偲ぶ会には退職教職員や江東区労連を結成した仲間らが集い、民謡やギター弾き語りをまじえて20人が故人の業績をたたえて哀悼の辞を述べました。最後に、詩人でもあった故人作詞の「春を呼ぶ子どもたち」を全員で合唱して、会の幕を閉じました。

区内29団体加盟の江東区社会保障推進協議会は3月22日、第23回定期総会を開き、2016年度の方針と予算、役員を決定し、「戦争法廃止」とともに、安心してこの街で住み続けるため、いのち・くらし・雇用を守る運動を一層拡げられることを呼びかける「総会アピール」を採択しました。

新年度の運動の基調として、「権利としての社会保障の視点を身につけながら、憲法25条の国民

生存権を守り発展させます」「江東区行政改革計画に基づく行政業務の委託推進、区民負担の増加に反対」など5項目を確認しました。

活動方針では、安心安全の医療・介護を実現する大運動を取り組む、国保を必要な時に安心して医療機関に受診できる制度に改善させる、生活保護基準の切り下げ反対、年金引き下げ中止を求め、憲法の改悪を許さず、平和で災害のないまちづくりと原発ゼロをめざすなど11項目を掲げています。

討論では、保育、医療、介護、区役所の各職場と年金者組合から、厳しくなる一方の区民の実情や、冷たい都政と区政の問題点が指摘されました。



江東区社保協が23回定期総会

江東区保健福祉センター